



【令和4年4月発行】

## 進級、入学 おめでとうございます



春爛漫の時期を迎えました。新学年がスタートして、子ども達の明るく元気な笑顔が戻ってきました。学校に力強い息吹が感じられます。また、新1年生39名が入学してきました。新しい出会いに、期待と夢が膨らんでいるようです。

本校の教育目標である「心豊かに、考えを創り行動する児童の育成」をめざして、これからも教職員一同力いっぱい努力して参ります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

### 令和4年度 1学期始業式 校長先生の講話（一部抜粋）

4月は1年間の大事なスタートの時期です。これからみなさんが新しい学年でがんばるために大切なお話を3つします。

1つ目は、「自分でよく考える」子になることです。よく考えるとはじっくり深く考えることと、こうすることはよいことだとしっかり判断する2つの意味があります。

よく考える子になるためには、先生や友だちの話をしっかり聞くことが大切です。なぜかという、話を聞くとときは、話をしている人の言いたいことはなんだろう、大切なことはなんだろうと頭をいっぱい使っているからです。そして頭の中に大切なことがたくさんはいつてくるからです。頭の中に勉強や生活をしていく上で大切なこと、難しい言葉で「知識」といいますが、知識があると深く考え、正しく判断しやすくなります。

他に知識を頭の中に入れる良い方法を知っていますか。それは本を読むことです。山野里小学校には本が好きな人がたくさんいますね。本を読むと、話を聞くことと同じように自分でよく考えることができるようになります。教科書を音読するのもそのためです。みなさん、今年もたくさん本を読みましょう。

2つ目は、「こつこつ続ける」子になることです。本を読むこともそうです。挨拶することもそうです。自分がよいことだと思いを少しずつでかまいません。続けてください。最初は大変と思っていたことも続けていくと、それが「当たり前」になります。当たり前になるということは、あなた自身に「良い力」が身についたということです。

それが「成長する」ということです。

3つ目は、「友だちの気持ちを思いやる優しさをもつこと」です。困っている友だちがいたら声をかけてください。思いやりのある行動で友だちを大切にすることは、友だちもあなたのことを大切に思ってくれます。一人一人が心がけることでみんなが過ごしやすい温かい雰囲気の良い学級になります。やさしい言葉かけの第1歩は友だちの名前をきちんと呼ぶことです。「〇〇君」「〇〇さん」と呼び掛けてください。友だちを呼び捨てで呼んで、その後には優しい言葉なんて出てくるはずがありません。

最後に、今日39名の新1年生が入学します。1年生はうれしい気持ちとともに不安な気持ちもあると思います。みなさんは、これから山野里小のお兄さん、お姉さんとして1年生にやさしくし、面倒をみてあげてください。

コロナウイルスに負けないよう手洗いやマスク着用のルールを守って、学習に運動に一生懸命取り組みましょう。

## 入学式

笑顔 いっぱい  
39名の1年生

